

1. 練習内容、練習計画等

- 弦 練習内容、形態が多彩に変化に富み、練習に意欲的に取り組める。特に最近行った弦セクションの自主練習は初めての試みだったがよい企画であった。
- 弦 新しく演奏会の練習が始まる時は皆さんにボウイング情報が伝わっている状態であるような練習計画や選曲スケジュールの組み立てをお願いしたい。
- 弦 今回はパート別の練習が多いのでいいと思います。
- 管・打練習日が多すぎる。短期集中で練習し演奏会後は1〜2か月のシーズンオフがあったほうがメリハリがつくのでは？
- 弦 伊藤先生がいなかった時の弦セク練がとてつもらなかった。グダグダしてやる気はあるのかな？セク練の時はちゃんと指導できる先生をつけていただきたい。
- 管・打いろいろ工夫がプラスに出ていると思います。
- 管・打新しい曲に取り組む際は譜読み期間を十分に取って、合奏が個人練習の時間にならないようにしてほしい。
- 管・打現状で満足しています。
- 弦 パート練習が増えたのは良かったと思います。プルトについて、練習の前半位までは個人別の譜面台にしてほしいです。
- 弦 もう少し早く練習内容がわかると良い。ボウイングももっと早く教えてほしい。(今までは定期が終わったら次のボウイングが決まっていた。)
- 管・打分奏を本番の指揮者の先生にみていただくのはいい取り組みだと思ふ。
- ？ 本番直前に強化練習や前日練習など詰め込みすぎで体力・集中力の維持が大変です。前日リハもないオケも多いのになぜ夜遅くまでやるのですか。
- 弦 今回の定期練習のようにセクション練習、パート練習を増やすと全体練習がより効果的になると思う。
- 弦 項目4とも関連するが、分奏の回数を増やし群響の方などに奏法の部分も含め「個人練習の仕方」や「練習の際に気を付ける事」をアドバイスしてもらう機会を定期的に設けた方がいい。どうしても「演奏会に向けての練習」になってしまいがちだが、演奏会でやる曲のごく一部だけに集中してそういう基本的なトレーニングの機会は重要だと思う。
- 管・打良いと思う。
- 管・打パートや分奏は適切なタイミングで良かったと思います。
- 弦 現状だと個々人とパートの練度が今一つであり、指揮者がパート間、パートの中での交通整理に時間を割いているのは非常にもったいなく感じます。毎週ただ集まってきて受身に練習に取り組んでいる段階です。パート練やセクション練をもっと充実し各々が出す音に責任をもって良いのでは。
- 弦 曲をあまり知らない状態で始めから終わりまで通すのではなく、1回曲を聴いた上で合奏するのが良いと思いました。
- 弦 分奏、パート練習の機会を増やしてほしい。(分奏は指導者有、パート練は自主的)練習の休みを増やすとモチベーションが下がる。

2. 選曲・指揮者の選定

- 弦 一人の指揮者にじっくりご指導いただきたい。少なくとも1〜2年は一人の先生が良い。選曲についてはポピュラーも入ると良いと思う。
- 弦 Alan Houhaness::Symphony No.2 op132 Prayer of St.Gregory
- 弦 トレーナー指揮者を招聘したことで練習がマンネリ化することもなくなり練習内容の質が高くなった。個性の異なる指揮者陣を擁することでオケの実力が確実に高まっていると思う。
- 弦 様々な指揮者に指導いただけることが新鮮でありがたいです。
- 弦 曲はあまり難しくない方が達成感がある。練習時により指揮者が変わるので指示がわかりづらい。
- 弦 コンマスにリーダーシップ性を期待します
- 管・打選曲は本来指揮者の意向ではなく、反対にその曲が振れる指揮者を選ぶべき。その曲を選ぶ際は各セクションの意見をしっかり聞いて演奏の難易度・エキストラの手配の必要性も含め十分検討してから候補を挙げるべき。自己満足で完成度の低い本番は耐え難い。
- 管・打選曲ではSTAR WARSのような映画音楽も増やしてほしいです。→新しい客層も増えるのでは。
- 弦 2〜3回に1回位コンチェルトも選曲してほしいと思います。費用が掛かりますが。指揮者は現在の方法で良いと思います。
- ？ 指揮者が目まぐるしく変わるのはいやづらいです。指揮者の選定を役員が勝手にして団員には事後報告というのはいかがなものでしょうか。
- 弦 指揮者については現状のように一定のローテーションで異なる先生に指導してもらうのがよい。
- 弦 「やったことがない曲をやってみよう」という意見が一定数あるのはわかるが、編成上(予算上)や難易度の問題で取り上げていない曲については無理して取り上げる意義は感じない。無理してやっても「途中で停まらない」だけの本番になる。(ただし、現状でも「手が届く」範囲で「やったことがない曲」も存在する)「じっくり取り組み」かつ「レ・アップにつながる」曲に取り組みたい。
- 管・打和田氏は楽しい。他の方も良いと思う。(申し訳ないが橘氏は楽しくない。メンバー紹介で低音を忘れるのは遺憾)
- 弦 知らない曲が多いので1フレーズCdw流すなど曲想がとらえられた上で選曲するのが良いと思いました。
- 弦 本番前1か月は出来るだけ本番指揮者練習が望ましい。

3. 演奏会の実施、集客

- 弦 チケット代0円（整理券でも良い）はいかがでしょう
- 弦 団員の知り合いで集客を増やすことは難しいと感じます。毎回招待できるような団体がいるといいのですが。
- 管・打群響の演奏会と日程が被らないようにしてほしい。
- 管・打曲の仕上がりが悪いと知り合いに声を掛ける気もなくなるのでPRの重要性は百も承知だがまずは音楽をしっかりしたい。
- 管・打ポスター・チラシ以外の告知を強化した方がいいと思います。→SNSやラジオなど
- 弦 室内楽演奏会を再開できればと思います。チケットは頑張って売っています。無料で配布される方と競合すると辛いので無料の方は「招待券」のハンコをお願いします。
- 弦 広報が弱い。チケット代が千円は高い。
- ? アマオケでチケット代1,000円は高すぎて恥ずかしくて人に渡せません。それに釣り合う演奏レベルでしょうか。
- 弦 定期演奏会のうち何回かに1回は「交響曲の特定の楽章だけ」といった取り上げ方や映画音楽などもプログラムに入れることが可能なファミリーコンサート的な演奏会を考えてもいいかもしれない。（編成の問題とか楽譜の問題とかいろいろあるが、群響でさえ最近はそういう演奏会もするようになった。）
- 管・打学校関係の招待など
- 弦 集客についてSNSを用いて演奏会の告知をするのも良いと思いました。（インスタ、ツイッター、facebookなど）

4. より高いレベルを目指すには

- 弦 ①楽しく活動参加できる様な雰囲気の中で個人練習に限ると思う。年齢、在籍年数に関係なく皆仲間。
- ②殊更に難曲を選ぶのではなく和声を楽しめる曲もあると満足感が大きく向上へとつながる。
- 弦 パートによって現状は異なると思うが指揮者等の指示・指摘が遅刻・欠席したメンバーにきちんと伝えられること（仕組み）ができればアンサンブルの精度がより高まると思う。
- 弦 コミュニケーション不足を感じる。トップ同士の話す機会を作ること（トップ練とかあってもいいのでは）パート内で話す機会を作ることをお願いしたい。「ここは見る、この入りは合わせる」など指揮者に言われるだけでなく団員間で言葉で確かめ合うだけでも共通認識が持てていいのではないのでしょうか。
- 弦 もっとパート練習をしたい。週一回の練習だけだとレベルアップの限界を感じる。
- 管・打丁寧にパート、分奏をすることは大切だと思います。
- 弦 プルトがほぼ固定化しているためモチベーションが上がりにません。
- 管・打アンサンブルをすると良いと思います。→開演前のロビーで発表などあっても良いかと。
- 弦 アンケートを再開してはいかがでしょう。クリップペンシル付きでアンケートを書いてもらえばいいと思います。
- 弦 パート練習があると良いのでは。
- 管・打以前のように団内アンサンブルを組むとアンサンブル力の向上につながるのでは。
- ? 最低限、指揮者を見ながら演奏することができればアンサンブルがもう少しは形になると思うのですが。譜面にかじりついてしか弾けないのは練習不足ですよ。
- 弦 ①長くやっていると妙な自信やプライドを持ちやすいが、世の中には自分より上手い人も自分たちより上手いアマオケもいくらでも存在する。卑屈になる必要はないが妙な自信を持ちすぎず、現時点で欠けている点は何かを考え続けることが必要だと思う。
- ②とりあえずは「楽譜をしっかり読む」ことが必要。何回か前のエニグマの練習でも「ten.をテヌートと認識していない」人が一定数いたのではないかと思う場面があった。過去、練習の中で指揮者に指摘された内容を振り返っても特に文字で書かれた事項についての意識が弱い人が多いと思う。「わかっているけど出来ない」こともあるが、最低限「こうやるべき」と認識していないといつまで経っても出来るようにならない。
- ③「細かい音符が弾けない」と違って自覚しにくいことだが「聴く力」や「数える力」が弱いと思う。例えば、自分が演奏している部分はもちろんだが、何小節か休んでいて後から入ってくる際、「前の部分を聴けていればそれはないな」と感じる場面も少なくない。
- 管・打和田氏が言う音符の細分化ができるようになればシンコペや後拍のとらえ方も良くなると思う。
- 管・打練習メニューの工夫（パート、分奏など）
- 弦 1st Vnと2nd Vnのレベル差が目立ちます。Vnのメンバーに一人ずつ好きな曲を弾いてもらい2グループに振り分けシーズンで1st,2ndを入れ替えたりすると面白いのでは？
- 弦 スコアを持っていない人もいると思うので、スコアのPDFのようなものがあると良いと思いました。
- 弦 個人技術の向上努力とパート練でパートのまとまりを築く

5. 雰囲気

- 弦 ピリピリした感じを持つことがある。
- 急がずにゆっくり楽しく練習に参加できるようなのが望ましい。指揮者が毎回変わることで手配して下さる方にもストレスがあると思うのでそれを避けることで改善の方向に行くかも。
- 弦 We have a wonderful family feeling.
- 弦 役員等について急激に若い世代への世代交代をしなくても良いのではないか。初期から支えてきた人たちがいてその世代を支えてきた人もいると思うので、段階を踏んでの世代交代を考えてみてほしい。また、役員が役員を選ぶのではなく団員の推薦によって選んだらいかがでしょうか。

弦 コロナも影響していると思いますが、同じ楽器（バイオリン）同志でもよくわからない人がいる。親しくなれていない気がします。

弦 弦の各パート内でまとまりを感じない。

管・打 近頃、とても練習が早く始まりとても良いと思います。

管・打 どの団体でも同様の問題があることは承知しているが音楽、曲、合奏、練習等について団員間の意識の差が大きすぎる。当団はオーディションまでして上のレベル？を目指している団体のはずなので…。

管・打 人数が多くて全員の名前が分からないので何か顔と名前が一致するツールがあると嬉しいです。話し掛けたいです。ワイワイしたいです。

？ 態度や言い方が高圧的な役員がいて練習会場が殺伐としてしまいます。

弦 コロナが収束したらコミュニケーションを深められる企画ができると良いと思う。

弦 団員の分だけ「やりたいこと」や「満足できるレベル」に違いがあるが、せっかく練習するのなら、同じメンバーで継続してやるなら少しずつでもレベルアップした方が楽しいと思う。

管・打 うまくいっている団だと思う。執行部がしっかりしている。技量の高い方が多い。

弦 個人→パート→セクションで練度を高めながら指揮者の細かいニュアンスを指導してもらえると良いオケになると思います。

弦 仲の良い人だけで話すことはあっても、全員で話したりすることはないので、話す機会を作った方が良いのではないか。

弦 団員同士がもっと音で会話が出来るとなれば良いのだが。

6. その他

弦 演奏会本番の開演前のトークは必要ないと思う。もし行うならば指揮者ではない方がいいと思います。

お客様はマエストロの登場は指揮棒を持ちさっそうと台に上る姿でグッ！！と引き込まれると思います。

その前に曲説明とか他の人でもできる事をさせるべきではないと思う。興ざめしてしまう。マエストロご本人も気持ちを統一させる時間が必要ですし先生に失礼な気がします。

弦 2年に1回アンケートを実施していただくと団員である当事者意識もみなさん感じられると思いました。

管・打 アマチュアなので弾けていない箇所がある程度仕方がないですが、次の週もまた次の週も同じ問題で合奏を止めることがないようにする努力をみんなでしましょう。周りに失礼です。（時間どろぼう）

管・打 足りているパートに人を増やすのは反対です。同じ団費を払っているのに出演や練習が少なくなるのは嫌です。それにメンタル的にも「自分では不足か？」と不安になります。

弦 練習の始めの先生への挨拶は団員から初めに挨拶した方が礼儀として良いのではないのでしょうか。

管・打 SNSを立ち上げると若い世代の団員獲得につながるのでは。

弦 パートミーティングがないとパート内で弓純がそろわない。パートトップ間も同様。

？ 演奏会直前の指揮者トークは指揮者に失礼なので無くすべきだと思います。

ポスター等の枚数が多すぎではないですか。（毎回あまるのだから）

パンフは他のオケのようにコピー用紙みたいなので十分だと思います。経費節減を多方面で考えるべきではないでしょうか。パンフに団員名簿をのせるのはやめてもらいたいです。

昔のままでなく変わること生き残れる方法を見出すべきだと思います。

弦 ボーイングなど変更点があった時全員に伝わるような工夫が必要。

